

総務委員会

○委員会付託案件の審査

(3月2日、5日、6日、9日開催)

付託案件

- 専決処分事項の承認を求めることについて(承認第1号)
- 市東日本大震災復興まちづくり支援事業基金の設置、管理及び処分に関する条例の制定について
- 市特別職の職員で非常勤のものものの報酬及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例の制定について
- 市税条例の一部を改正する条例の制定について
- 市手数料条例の一部を改正する条例の制定について
- 市庁舎建設基金の設置、管理及び処分に関する条例を廃止する条例の制定について
- 平成23年度市一般会計補正予算(第8号)
- 平成24年度市一般会計予算
- 副市長の給料月額の特例に関する条例の制定について
- 教育委員会教育長の給料月額の特例に関する条例の制定について
- 市職員の給与の改定及び臨時特例に関する条例の制定について
- 「東海第2原発の廃炉を求める意見書」採択を求める請願書
- 「緊急事態基本法」早期制定を求める意見書提出に関する請願書

審査内容

- Q** 平成22年度の財政健全化判断比率、資金不足比率の指標すべてが健全であり、資金不足もないと、公表されている。
A 平成23年度は、これらの指数の急激な悪化や、資金不足が生じる状況なのか。
- Q** 平成23年度の見通しは、大きな増減比は見受けられず、特に問題ないと感じている。
A 健全財政であると思うが。
- Q** 平成23年度は、そう捉えています。
A 財政調整基金に7149万6千円を積み立てる一方で、臨時財政対策債を2630万円計上している。
Q 借金をして貯金をしていると感じるが。
A 臨時財政対策債は、返済する分について交付税措置があることから、活用したほうがよいとの判断をしました。
- Q** 職員給与削減を、どのように東日本大震災の対処として使うかの説明がない。
A 市長公約実現のためとの認識でよろしいか。
- Q** 国では、東日本大震災の復興に充当すると明確化されておりますが、当市では市長の行財政改革の推進ということですか。
A 官民格差の是正のために、どのように給与を改正してきたのか。
A 人事院勧告により、是正を行ってきました。

Q 職員組合と、給与削減についての労使交渉は開催したのか。
A 今回は、開催しておりません。

Q 健全財政であることを踏まえると、市が特別の必要性や合理的な理由もないのに、労使交渉による合意形成もされない状況で、給与減額条例を議会に提案することや、議会が安易に可決することは不当ではないか。
A ご理解を賜りたいと思います。

Q 平成23年度の補正予算として、消防団施設整備事業552万6千円が計上されているが、その内容について伺う。
A 災害活動用備品として、消防団で使用するトランシーバーを購入するものです。

Q 市の防災計画の見直しとあわせ、市民に安心を得るための防災訓練を実施してもらいたい、その考えは。
A 県防災計画改定後に、市の計画見直しを行います。その計画に基づき防災訓練を実施するという順番になります。



▲市内各中学校と下稲吉小学校に設置された防災井戸

文教厚生委員会

委員会付託案件の審査

(3月20日、5日、6日～9日開催)

付託案件

- 市立保育所運営事業者選考委員会条例の制定について
- 市災害弔慰金の支給等に関する条例の一部を改正する条例の制定について
- 市医療福祉費支給に関する条例の一部を改正する条例の制定について
- 市敬老祝金給付条例の一部を改正する条例の制定について
- 市介護保険条例の一部を改正する条例の制定について
- 市公民館設置及び管理等に関する条例の一部を改正する条例の制定について
- 市立図書館条例の一部を改正する条例の制定について
- 市青少年問題協議会設置条例を廃止する条例の制定について
- 平成23年度市一般会計補正予算(第8号)
- 平成23年度市国民健康保険特別会計補正予算(第3号)
- 平成23年度市後期高齢者医療特別会計補正予算(第2号)
- 平成23年度市介護保険特別会計補正予算(第3号)
- 平成24年度市一般会計予算
- 平成24年度市国民健康保険特別会計予算

- 平成24年度市後期高齢者医療特別会計予算
- 平成24年度市介護保険特別会計予算

審査内容

Q 敬老祝金の縮減については、非常に冷たい仕打ちと思うが、今回実施するとの判断は、どのような理由によるのか。

A 事業仕分けが全然反映されていなかったことと、「老」から「若」へという政策に合致したため、77歳と99歳については廃止するものです。

Q 事業仕分けでの敬老祝金不要の結論を受けて、全廃する考えはなかったのか。

A 祝金の趣旨から、全廃すべきものではないと考えます。ただ、99歳については、次の年の100歳でもらえるので、それを楽しみにしていたかどうかということで、必要ないとの考えです。

Q 中学生3年生までの医療費の無料化に伴い、外来自己負担金の支給については、前回同様廃止する内容か。

A 廃止をするという内容です。

Q 国民健康保険や介護保険は、支出が増えている。その中で、中学生3年生までの医療費の無料化を市単独で実行することは、将来にツケをまわすことになるのではないか。

A 就学児をかかえるご家庭の負担をなくすということが、人口減少を食い止める策です。だから、行財政改革の一環で、中学生以下の

医療費の無料化にお金を投じるわけです。そのために、お年寄り層から、若い人へ所得を移してもらうような政策を促すということです。

Q 応急仮設住宅借上料とあるが、現在、福島県から避難をして、当市で民間の借上住宅に住んでいる方は、何世帯いるのか。

A 8世帯です。

Q 介護保険特別会計補正予算に災害臨時特別支出金とあるが、内容を伺う。

A 被災者が利用する施設介護サービスにおける居住費、食費の減免額を計上したものです。

閉会中に行われた委員会

(4月26日開催)

調査内容

- 教育施設、文化施設、体育施設および福祉・保健施設に関する事項
- 阿見町の業者一括委託による体育施設管理状況について

視察研修



▲阿見町役場において説明を受ける



▲阿見町総合運動公園

産業建設委員会

○委員会付託案件の審査

(3月2日、5日、6日、9日開催)

付託案件

- 市墓地等の経営許可等に関する条例の制定について
- 市産業活動の活性化及び雇用機会の創出のための固定資産税の特例措置に関する条例の一部を改正する条例の制定について
- 市企業立地促進条例の一部を改正する条例の制定について
- 平成23年度市一般会計補正予算(第8号)
- 平成23年度市下水道事業特別会計補正予算(第5号)
- 平成23年度市農業集落排水事業特別会計補正予算(第5号)
- 平成23年度市水道事業会計補正予算(第2号)
- 平成24年度市一般会計予算
- 平成24年度市下水道事業特別会計予算
- 平成24年度市農業集落排水事業特別会計予算
- 市道路線の認定について
- 平成24年度市水道事業会計予算

審査内容

Q 平成24年度は、板橋区イナリ通りのアンテナショップは実施しないのか。
A 商品が計画どおりにそろわないことや、アンテナショップに適した店舗の確保ができないこともあり、撤退します。

Q 平成23年度下水道事業の補正予算で、東日本大震災災害復旧事業費の減額理由は、工事を行わない為とのことだが、理由を伺う。
A 震災直後、滞水等の状況を確認し、県と協議をした中で、災害復旧事業を申請しました。その中で国の災害査定が実施され、管の大きさの5分の1以上の弛みが確認されなければ国の災害事業に該当しないことから、減額するものです。

Q 農業集落排水事業特別会計繰出金が、前年度予算から2千万円の増となっているが、この理由は。
A 各処理施設から出る脱水汚泥の処分、運搬に関して、平成24年度は放射性物質の処分費用を計上したことが要因です。

Q リサイクル推進事業の内容は。
A 資源物回収事業補助金としては、各地区の子ども会が実施する資源物回収事業を奨励し、資源の有効利用と廃棄物の減量化を目的としております。また、生ごみ処理機等補助金としては、生ごみの家庭処理を推進し、生ごみの減量化及び再資源化を図ることを目的としております。

Q 観光サイクリング事業の内容は。
A 歩崎公園をスタート地点とし、約4時間レースをする内容で参加者を募ります。参加募集は、全国から約800人とし、サイクリングのイベント会社との共催となります。



▲市道認定箇所現地調査(稲吉東三丁目)



▲下水道線越工事現場の調査(加茂地内)

○閉会中に行われた委員会

(3月29日開催)

調査内容

●下水道整備について

調査内容

●農林水産業の振興に関する事項
●環境衛生及び公害に関する事項

(4月13日開催)